

令和6年2月13日、鹿屋体育大学及び公益財団法人鹿屋体育大学・スポーツ振興教育財団の主催による「令和5年度競技成績報告会」を開催しました。この会は世界大会出場や全国大会優勝など、各競技大会で特に優秀な成績を収めた学生の健闘をたたえ、ともに喜びを分かち合いました。来賓の挨拶を



スポーツ奨励金受賞者25名を代表し、中西市長から奨励金を授与される剣道部の木村恵都さん(武道課程4年、水戸葵陵高等学校・茨城、群馬県出身)

協力をお願いしている学生の方をお招きし、感謝の意をお伝えするために開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度以降、4年ぶりに本学学生食堂で飲食を共にする形で実施することができました。

まず始めに金久博昭学長が主催者として、4年ぶりにこの会場で開催できることに、国内外の競技大会やかしま国体で多くの学生が活躍し、好成績を残した結果としてこの会に出場できる学生が例年より多くなっていることが喜ばしいと挨拶しました。来賓の挨拶を



行った中西茂鹿屋市長は「スポーツは人生を潤すもの。3月で卒業する4年生の皆さんは、4年間の学生時代、青春時代を謳歌した鹿屋市を第二の故郷と思ってください」と挨拶し、公益財団法人鹿屋体育大学・スポーツ振興教育財団の風呂井敬理事長は「久しぶり、このようにな場所を設けられてうれしい。ひとえにご来賓の皆様のおかげで、学生生活のサポートが、今後も支援を続けるので、さらに活躍してください」と財団への支援に感謝の意を添えながら乾杯の発声を行い、会がスタートしました。

乾杯の後には、学生の好みを反映させたレバートリーで用意した肉類多めのメニューに、満面の笑みで舌鼓を打つ風景が見られる中、課外活動団体ごとに顧問教員や学生から競技成績の報告等が行われたほか、鹿屋市から鹿屋市スポーツ奨励金の贈呈、一般社団法人A t Farm Atmos phereからの鹿屋体育大学アワードの表彰が行われました。

その後、金田希一さん(スポーツ総合課程4年・体操競技部、市立船橋高等学校・千葉、群馬県出身)がご支援いただいた皆様への感謝の気持ち、コロナ禍の苦悩、今後の抱負などを学生代表として挨拶し、最後に濱田幸二競技力向上委員会委員長(競技力向上・国体担当学長補佐)が謝辞を述べました。約1時間30分ほどの限られた時間ではありましたが、参加した学生、列席した学内外の支援者から「このようない機会があることに本当にうれしい」という多くの声が聞かれました。

鹿屋体育大学はこの地に於ける学術研究・教育の現場として、体育・スポーツに関わる様々な取り組みを通して地域の皆さまとともに歩み、今後も引き続き競技力向上に励み、数多くのトップアスリートに輩出など、期待に応えられるよう努めてまいります。今後とも学生への変な応援をお願いします。

(S・K)

令和5年度競技成績報告会を4年ぶりに開催!!

羽ばたけ 大空へ

新財団

編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人(発行責任者)：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)



来賓を代表して挨拶する中西鹿屋市長



主催者を代表して挨拶する金久学長



乾杯の音頭は鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の風呂井理事長



競技成績報告会の対象となった全学生を代表して、お礼の言葉を述べる体操競技部の金田希一さん



謝辞を述べる濱田競技力向上委員会委員長



最後に来賓の方々と一緒に記念撮影

わかくさ

「君は注意カサマンだね。これは中学生の時に担任の先生から言われた言葉だ。当時の自分

スポーツを愛する人たちへ

(公財)ミズノスポーツ振興財団は「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は50年以上にわたります。具体的には、スポーツの普及振興やスポーツの国際交流の発展に対する助成、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成、優秀なスポーツ指導者やスポーツライターを顕彰する事業などを行っており、その助成累計額は約86億円に及びます。



オリンピックに携わる仕事をしてみたいという夢に向かって階段を二歩一歩登り、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場統括責任者としてその夢を実現させた男は、今古巣のバレーボール界でその力を発揮しようとしている。内藤拓也さん、鹿屋体育大学5期生だ。

今やバレーボールは世界各国が強化に力を入れ、大会招致にも大金を使っている時代だ。かつて松平康隆会長の頃には主要大会はすべて日本で行ったこともあったが、もはや過去のこと。日本にとっては試練ともいえるこの時期に、日本バレーボール協会の業務執行理事として大会運営事業の責任者を務める内藤拓也さんの役割は重要な。国際大会を招致する交渉から大会運営までその責

任を一手に引き受ける。内藤さんは西郷さんの銅像で有名な上野恩賜公園の中にある都立上野高等学校出身。身長168センチの小柄ながら高校時代から懸命にバレーボールに取り組み、筑波大学出身の顧問から「小柄ながらここまでやれるんだから大学も体育大学に進んで大丈夫」と背中を押され、鹿屋体育大学への進学を決意した。

バレーボール選手としては全九州大学リーグ準優勝を経験し、全日本インカレにも出場した。両親ともに教員であり、将来は教員にと鹿屋体育大学を選んだのだが、大学で体育経営学を、今ではスポーツマネージャーのゼミで学んだことから徐々に思いは変わっていき、卒業後は笹川スポーツ財団に就職、さらには三菱総合研究所に出向

で学ばれた菊池秀夫先生からも米国スポーツの新しい観点を聞いていた。その頃から、いつかはスポーツビジネスの本場で学んでみたいという夢を抱いていたのだ。調べに調べた結果、北卡罗来纳大学スポーツアドミニストレーション(経営学)のマスター(修士)プログラムを選ぶ。その理由はオリンピックスポーツマーケティングを専門にしている教授がいたからだ。英語では苦労はしたものの、14年間の社会人生活を経たことで、高いモチベーションを持って学ぶことができたという。朝7時から夜中の12時まで開いている図書館で本を食らうように読み、さらに授業では書物では得られない最新の情報を基にしたディスカッションを行うなど、人生の第二のスタートの基礎をしっかりと作ることができたのだ。

その後、米国オリンピック委員会でのインターンシップを経て、米国バレーボール協会に就職したいと積極的に関わり、最終的にディレクターやスタッフと親交を重ね、ついに「手伝ってほしい」と声をかけてもらうことになった。しかし、行ってみるとそれはマスコットのイグナツを盛り立てる仕事だった。しよばてはうれしな

い。その夜、当時米国バレーボール協会の最高責任者ダグ・ビールに挨拶する機会を得て、それが縁となり、人生はまた大きな一歩を踏み出すこととなる。実は読んでくれたかどうかわからない手紙をダグに数回送って

いたこともあり、この時ダグからUSAバレーボールの資料室整理の仕事が頼まれたのだ。時給は1000円強の当時の最低賃金。ここの仕事は認められ正社員となり、ついに国際イベントチームのメンバーとしてトナメントディレクターを任されるようになった。

その後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に面接を経て就職。競技運営から会場運営と幅広く仕事をこなし、2021年本番では伊豆で行われた自転車競技全般的統括責任者を務めることに。まさに長い夢だったオリンピックを支える仕事をやり切ったのだ。

自分がその時々で置かれた状況の中で、やりたい仕事、やりたいものに目標を定め、地道に行動し信頼を得て、手中にいく手帳はお見事の一言。粘りと努力、そして人柄の良さで信頼を得ていくプロセスと手腕は、日本バレーボール協会でもいかに発揮されていくことだろう。しばし注目したい。

生からも米国スポーツの新しい観点を聞いていた。その頃から、いつかはスポーツビジネスの本場で学んでみたいという夢を抱いていたのだ。調べに調べた結果、北卡罗来纳大学スポーツアドミニストレーション(経営学)のマスター(修士)プログラムを選ぶ。その理由はオリンピックスポーツマーケティングを専門にしている教授がいたからだ。英語では苦労はしたものの、14年間の社会人生活を経たことで、高いモチベーションを持って学ぶことができたという。朝7時から夜中の12時まで開いている図書館で本を食らうように読み、さらに授業では書物では得られない最新の情報を基にしたディスカッションを行うなど、人生の第二のスタートの基礎をしっかりと作ることができたのだ。

その後、米国オリンピック委員会でのインターンシップを経て、米国バレーボール協会に就職したいと積極的に関わり、最終的にディレクターやスタッフと親交を重ね、ついに「手伝ってほしい」と声をかけてもらうことになった。しかし、行ってみるとそれはマスコットのイグナツを盛り立てる仕事だった。しよばてはうれしな

い。その夜、当時米国バレーボール協会の最高責任者ダグ・ビールに挨拶する機会を得て、それが縁となり、人生はまた大きな一歩を踏み出すこととなる。実は読んでくれたかどうかわからない手紙をダグに数回送って

いたこともあり、この時ダグからUSAバレーボールの資料室整理の仕事が頼まれたのだ。時給は1000円強の当時の最低賃金。ここの仕事は認められ正社員となり、ついに国際イベントチームのメンバーとしてトナメントディレクターを任されるようになった。

その後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に面接を経て就職。競技運営から会場運営と幅広く仕事をこなし、2021年本番では伊豆で行われた自転車競技全般的統括責任者を務めることに。まさに長い夢だったオリンピックを支える仕事をやり切ったのだ。

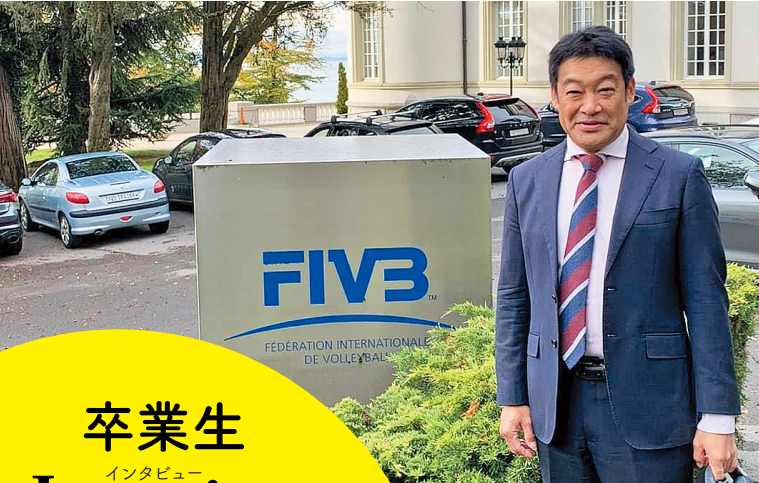
自分がその時々で置かれた状況の中で、やりたい仕事、やりたいものに目標を定め、地道に行動し信頼を得て、手中にいく手帳はお見事の一言。粘りと努力、そして人柄の良さで信頼を得ていくプロセスと手腕は、日本バレーボール協会でもいかに発揮されていくことだろう。しばし注目したい。

毎年東京ビッグサイトで開催されているスポーツ・健康産業の専門展「SPORTS & HEALTH」が九州に初上陸し、令和5年12月13、14日の2日間、マリメッセ福岡で開催されました。初日はオープンングセレモニーが開催され、SPORTEC実行委員会を代表し、本学の

前田明理理事・副学長・SPORTEC副実行委員長が挨拶。本学のスポーツ・健康産業研究センターが今年度から国立の体育大初のネーミングライツ施設として「SPORTEC」スポーツ・健康産業研究センターとして新たに活動を開始し、この2日間が皆さまのビジネスの発

展や研究力の向上につながることを祈念いたしまし、すこすこピーチしました。また今回は初の試みとして鹿屋市、かのやスポーツコミッション、本学の産官学でブースを出展し「鹿屋スポーツ合宿を！」と来場者と呼びかけました。セミナー・セッションも開催され、14日の午後からは「成長する大学野球部の在り方」日本一の成長率を目指す唯一無二の組織づくりをテーマに、藤井雅文硬式野球部監督(スポーツ・武道実践科系講師)、鈴木智晴同コーチ(スポーツインベシジョン推進機構特任助教)、棟田雅也同顧問(スポーツ人文・応用社会科

学系助教)の本学の3人が皆さまのビジネスの発



卒業生 Interview

インタビュー

日本バレーボール協会 業務執行理事

5期生 内藤 拓也さん

【Profile】

ないとう・たくや。1968年6月2日生まれ、東京都出身。東京都立上野高等学校から、鹿屋体育大学体育・スポーツ課程に5期生として入学。平成4年3月卒業。元笹川スポーツ財団職員。北卡罗来纳大学大学院卒業。元USAバレーボール協会職員、元東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会職員、元日本バレーボールリーグ機構事業企画部長。現在、日本バレーボール協会業務執行理事。

生からも米国スポーツの新しい観点を聞いていた。その頃から、いつかはスポーツビジネスの本場で学んでみたいという夢を抱いていたのだ。調べに調べた結果、北卡罗来纳大学スポーツアドミニストレーション(経営学)のマスター(修士)プログラムを選ぶ。その理由はオリンピックスポーツマーケティングを専門にしている教授がいたからだ。英語では苦労はしたものの、14年間の社会人生活を経たことで、高いモチベーションを持って学ぶことができたという。朝7時から夜中の12時まで開いている図書館で本を食らうように読み、さらに授業では書物では得られない最新の情報を基にしたディスカッションを行うなど、人生の第二のスタートの基礎をしっかりと作ることができたのだ。

その後、米国オリンピック委員会でのインターンシップを経て、米国バレーボール協会に就職したいと積極的に関わり、最終的にディレクターやスタッフと親交を重ね、ついに「手伝ってほしい」と声をかけてもらうことになった。しかし、行ってみるとそれはマスコットのイグナツを盛り立てる仕事だった。しよばてはうれしな

い。その夜、当時米国バレーボール協会の最高責任者ダグ・ビールに挨拶する機会を得て、それが縁となり、人生はまた大きな一歩を踏み出すこととなる。実は読んでくれたかどうかわからない手紙をダグに数回送って

いたこともあり、この時ダグからUSAバレーボールの資料室整理の仕事が頼まれたのだ。時給は1000円強の当時の最低賃金。ここの仕事は認められ正社員となり、ついに国際イベントチームのメンバーとしてトナメントディレクターを任されるようになった。

その後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に面接を経て就職。競技運営から会場運営と幅広く仕事をこなし、2021年本番では伊豆で行われた自転車競技全般的統括責任者を務めることに。まさに長い夢だったオリンピックを支える仕事をやり切ったのだ。

自分がその時々で置かれた状況の中で、やりたい仕事、やりたいものに目標を定め、地道に行動し信頼を得て、手中にいく手帳はお見事の一言。粘りと努力、そして人柄の良さで信頼を得ていくプロセスと手腕は、日本バレーボール協会でもいかに発揮されていくことだろう。しばし注目したい。

毎年東京ビッグサイトで開催されているスポーツ・健康産業の専門展「SPORTS & HEALTH」が九州に初上陸し、令和5年12月13、14日の2日間、マリメッセ福岡で開催されました。初日はオープンングセレモニーが開催され、SPORTEC実行委員会を代表し、本学の

まっすぐに。正直に。

大波酒造株式会社

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号

電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

- 〇飲酒は20歳になってから。
- 〇飲酒は楽しく、適量を。
- 〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
- 〇飲酒運転は法律で禁止されています。

Kubota 農業機械

株式会社 三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号

TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】

鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理

N

水質安全に 全力投球

鹿屋市許可 株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子 鹿屋市王子町4531-2 TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181



